

表 8.7-10(15) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハマナス）

種名		ハマナス					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—		種の保存法	—		
	環境省RL	—		宮城県RDB	NT		
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
4	.	.	.	.	B	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道以南、太平洋岸は茨城県南部まで、日本海岸は東北・北陸を経て、島根県へ至る。					
	仙台市内の分布	蒲生、井土浦など。					
	形態	バラ科バラ属の落葉低木。枝は太く、扁平な太い刺のほか、針のような細かい刺針を多生し、刺自体にも細毛を密生する。葉は7～9小葉からなり、長さ3～5cm。花期は6～7月。花は枝の先に1～3個つき、大きくて6～7cm、深紫紅色。果実は大きく、扁球形、多肉で黄赤色に熟し、長さ2～2.5cm。					
	生育環境	海岸の砂地に生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に砂浜で生育を確認した。			—	—		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—		
④	平成23年度の夏季（7月）調査時に生育を確認した。			—	—		
⑤	平成23年度の春季（4月）、平成23年度及び平成24年度の夏季（6・7月）調査時に砂地で生育を確認した。			—	—		
⑥	平成29年度の夏季（6月）調査時に生育を確認した。			—	—		
合計					—		

表 8.7-10(16) 注目すべき種の特性及び確認状況（カジイチゴ）

種名		カジイチゴ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—		種の保存法	—		
	環境省RL	—		宮城県RDB	—		
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
1,2	.	.	.	C	C		
種 の 特 性 (※)	全国分布	本州（関東以西の太平洋側）・四国・九州の沿岸地、伊豆七島など。					
	仙台市内の分布	岡田、与兵衛沼公園、荒浜、蒲生など。					
	形態	バラ科キイチゴ属の落葉低木。茎は円く、高さは2～3mに達し、よく分枝する。まったく刺がない。葉は大型、ふつう卵円形で、長さも幅も6～12cm。花期は3～4月、花は白く、上を向いて咲き、長さ3～4cmで大きい。果期は4～5月、果実は球形で、長さ1.2～1.5cm、橙黄色に熟す。					
	生育環境	海岸に生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
④	平成23年度の夏季（8月）調査時に生育を確認した。			—	—		
合計					—		

表 8.7-10(17) 注目すべき種の特性及び確認状況（イヌツゲ）

種名		イヌツゲ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	・	C	・	・	C	
種 の 特 性 (※)	全国分布	本州・四国・九州。				
	仙台市内の分布	青葉山、台原森林公園、藩山、黒森山、蒲生、荒浜、大倉山、茂庭、水の森公園、長命館公園、将監沼風致公園など。				
	形態	モチノキ科モチノキ属の常緑小高木。若枝は角ばり、短毛が密生する。葉は密に互生し、革質。葉柄は長さ1～2mm。葉身は長楕円形～楕円形で先は鈍く、基部は鋭形または鈍形、長さ1～3cm、幅0.5～1.6cm、縁にあらい少数の鋸歯があり、両面無毛、裏面は淡緑色腺点が散在する。				
	生育環境	山地の日当たりのよい林縁や草地に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に被災樹林で生育を確認した。			—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
	合計				—	

表 8.7-10(18) 注目すべき種の特性及び確認状況（ヒシ）

種名		ヒシ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	・	B	・	B	・	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	青葉山、芋沢、上愛子、大倉、茂庭台、秋保町長袋、朴沢、福岡、根白石など。				
	形態	ヒシ科ヒシ属の一年生草本。浮水葉は放射状に密生して水面に浮かび、3角状菱形で、上部の縁に3角状の鋸歯があり、径2.5～5cm、裏面や葉柄には毛があり、葉柄は長くて中央部はふくらむ。花は径約1cmで白色、7～10月に開く。				
	生育環境	池に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
	合計				—	

表 8.7-10(19) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハマボウフウ）

種名		ハマボウフウ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—	
	環境省RL	—			宮城県RDB		—	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1	.	.	.	.	C		
種の特 性 (※)	全国分布	北海道～琉球。						
	仙台市内の分布	蒲生など。						
	形態	セリ科ハマボウフウ属の多年草。茎は多毛で、高さ5～40cm、まれに1mにもなる。葉は厚く、小葉や裂片は広くて先は円く、鋸歯があり、長さは2～5cm、幅は1～3cm。6～7月に花を開き、罅歯片は卵形、花弁は白色。果実は広楕円形。						
	生育環境	海岸の砂地に生育。						
番号	確認状況					地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に砂浜で生育を確認した。					—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。					—	—	
合計							—	

表 8.7-10(20) 注目すべき種の特性及び確認状況（ナツハゼ）

種名		ナツハゼ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—	
	環境省RL	—			宮城県RDB		—	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
		C	.	.	.			
種の特 性 (※)	全国分布	北海道・本州・四国・九州。						
	仙台市内の分布	青葉山、台原森林公園、葛岡墓園、上愛子、蕃山、荒浜、井土、大年寺山、秋保大滝植物園、県民の森、長命館公園、根白石など。						
	形態	ツツジ科スノキ属の落葉低木。高さが1.5～3mになる。葉柄は長さ1～2mm、あらい毛がやや密に生える。葉身は卵状楕円形で先は鋭くとがり、長さ4～10cm、幅2～5cm、両面にあらい毛が散生し、縁には鋸歯がなく、多数の腺毛が生える。5～6月、新枝の先に長さ3～4cmの総状花序を伸ばし、多数の花を下向きにつける。実は球形で径7～8mm、黒熟する。						
	生育環境	林縁に生育。						
番号	確認状況					地点数	確認数	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。					—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。					—	—	
合計							—	

表 8.7-10(21) 注目すべき種の特性及び確認状況（ヤブコウジ）

種名		ヤブコウジ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—	
	環境省RL	—			宮城県RDB	—	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	.	.	.	.	.	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道（奥尻島）・本州・四国・九州。					
	仙台市内の分布	葛岡墓園、青葉の森緑地、与兵衛沼公園、井土、荒浜海岸公園、釣取山など。					
	形態	ヤブコウジ科ヤブコウジ属の常緑小低木。茎は単一で、基部斜上して直立し、高さ10～30cm。葉は深緑色で光沢があり、長楕円形または狭楕円形、鋭頭、基部は鋭形、長さ6～13cm、幅2～5cm、突端に終わる低い鋸歯がつく。花序は散形状、葉または鱗片葉に腋生し、2～5花をつける。花は7～8月に咲き、下垂し、径6～8mm、幅（ふく）状となり、花弁は帯紅色または白色、広卵形、長さ4～5mm、無毛、腺点がある。果実は球形で、赤色に熟し、径5～6mm。					
	生育環境	丘陵地林内に生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に砂浜において生育を確認した。			—	—		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—		
合計					—		

表 8.7-10(22) 注目すべき種の特性及び確認状況（イボタノキ）

種名		イボタノキ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—	
	環境省RL	—			宮城県RDB	—	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	.	B	.	.	.	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道・本州・四国・九州。					
	仙台市内の分布	上愛子、藩山、井土、大年寺山、名取川太白大橋左岸、根白石、長命館公園、県民の森、朴沢など。					
	形態	モクセイ科イボタノキ属の落葉低木。高さ2～4mとなり、よく分枝して枝は灰白色、若枝には細毛がある。葉は薄くて光沢がなく、長楕円形、長さ2～5（～7）cm、幅7～20（～25）mm、鈍頭、ふつう葉裏の中肋沿いの基部にまばらに毛がある。花期は5～6月。					
	生育環境	山麓や平地の林縁などに生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—		
合計					—		

表 8.7-10(23) 注目すべき種の特性及び確認状況（ガガブタ）

種名		ガガブタ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—
	環境省RL	NT			宮城県RDB		CR+EN
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
種の特 性 (※)	全国分布	本州～九州。					
	仙台市内の分布	—					
	形態	ミツガシワ科アサザ属の多年草。茎は細くて長く、1～3個の葉をつける。葉は卵状円形で得長さ7～20cm。花は7～9月、葉柄の基部に数個から多数束生する。株により長花柱花と短花柱花がある。蒴果は楕円形で長さ4～5mm。種子は広楕円形で光沢があり、長さ0.8mm。					
	生育環境	沼沢に生育。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に、開放水域で生育を確認した。				—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—	
合計						260	

表 8.7-10(24) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハマヒルガオ）

種名		ハマヒルガオ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—
	環境省RL	—			宮城県RDB		—
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
種の特 性 (※)	全国分布	北海道～琉球。					
	仙台市内の分布	中野、荒浜など。					
	形態	ヒルガオ科ヒルガオ属の多年草。茎は無毛で砂上をほう。葉は腎心形、凹頭～円頭、長さ2～4cm、幅3～5cm、無毛でやや厚く、光沢がある。花期は6～8月。花冠は淡紅色で、長さ4～5cm、花柄は葉より長い。果実は大い。					
	生育環境	海岸や湖岸の砂地に生育。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に干潟及び砂浜で生育を確認した。				—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。				—	—	
⑤	平成23年度の夏季（7月）調査以降、砂地で生育を確認した。				—	—	
⑥	平成29年度の春季（3月）及び夏季（6月）調査時に生育を確認した。				—	—	
合計						—	

表 8.7-10(25) 注目すべき種の特性及び確認状況（ウンラン）

種名		ウンラン						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—		
	環境省RL	—			宮城県RDB	—		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	.	.	.	.	C			
種の特 性 (※)	全国分布	本州・北海道。						
	仙台市内の分布	蒲生、荒浜など。						
	形態	ゴマノハグサ科ウンラン属の多年草。茎は分枝して斜上または匍匐し、長さ20～40cm。葉は肉質で緑白色。楕円または楕円状波針型で先はややとがり、基部は狭まり無柄で鋸歯が無く、長さ1.5～5cm、幅0.5～2cm。8～10月、茎の上部に短い総状花序を作る。花は黄白色で花喉部は黄橙色。蒴果は球形で5～6mm、不規則に裂ける。種子は黒色で、角ばる。						
	生育環境	海岸の砂地に生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に被災樹林で生育を確認した。				—	—		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(26) 注目すべき種の特性及び確認状況（サギゴケ）

種名		サギゴケ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—		
	環境省RL	—			宮城県RDB	—		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	.	C	.	C	.	○		
種の特 性 (※)	全国分布	本州・四国・九州。						
	仙台市内の分布	葛岡墓園、台原森林公園、岡田、荒浜、大年寺山、鈎取山、太白山自然観察の森、泉ヶ岳芳の平など。						
	形態	ゴマノハグサ科サギゴケ属の多年草。葉は根ぎわに集まり、その間から匍匐茎を伸ばして新苗を作る。根ぎわの葉は倒卵形で基部は柄となり、縁にはふぞろいに裂けた鋸歯があり、長さ2～5cm、幅1.5～2cm。花冠は紅紫色で長さ1.5～2cm、蒴果は扁球形で、罅に包まれる。						
	生育環境	やや湿気のある田のあぜなどに生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(27) 注目すべき種の特性及び確認状況（オオバコ）

種名		オオバコ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—
	環境省RL	—			宮城県RDB		—
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	○	
種の特性 (※)	全国分布	北海道～琉球。					
	仙台市内の分布	台原森林公園、水の森、日の出町公園、蒲生、荒浜、野草園、大年寺山、秋保町馬場滝原、長命館公園、朴沢など。					
	形態	オオバコ科オオバコ属の多年生草本。葉は10枚ばかりで、白毛が散生するか無毛、葉身は変化が多く、長さ1～2cmのものから15cmになるものまであり、やや薄く卵形で先は鈍く、縁は全縁か不明瞭な波状の歯牙があり、基部は急に狭まって長さ5～10cmの細い柄となる。4～9月、高さ10～50cmの花茎を伸ばし、白色の花を密に穂状花序につける。					
	生育環境	日当たりのよい道ばたや荒地に生育。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に、河川、耕作農地、宅地跡で生育を確認した。				—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。				—	—	
合計						—	

表 8.7-10(28) 注目すべき種の特性及び確認状況（キッコウハグマ）

種名		キッコウハグマ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—
	環境省RL	—			宮城県RDB		—
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	○	
種の特性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	青葉山、国見、台原森林公園、葛岡墓園、藩山、荒浜、井土、野草園、大年寺山、釣取山、太白山、水の森公園、秋保大滝植物園など。					
	形態	キク科モミジハグマ属の多年生草本。葉は茎の下部に5～11枚集まってやや輪状につき、葉柄は葉身のおよそ2倍の長さがある。葉身は心形、まれに腎形または卵形、長さ1～3cm、5角形か、または5浅裂し、両面に長い毛がある。花期は9～10月。					
	生育環境	山のやや乾いた木陰に生育。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。				—	—	
合計						—	

表 8.7-10(29) 注目すべき種の特性及び確認状況（アキノキリンソウ）

種名		アキノキリンソウ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—
	環境省RL	—			宮城県RDB		—
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	・	C	・	・	・	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	台原森林公園、青葉の森緑地、葛岡墓園、藩山、上愛子、水の森、船形山、荒浜、井土浦、大年寺山、太白山自然観察の森、秋保町馬場、将監沼風致公園、泉ヶ岳芳の平など。					
	形態	キク科属の多年生草本。高さ35～80cm。葉身は卵形から長楕円形、長さ7～9cm、幅1.5～5cm。花は8～11月。頭花は径12～14mm、枝の先に散房状または総状につき、花柄は長さ3～6mmで毛があり、長さ1mmほどの小苞がある。総苞は狭鐘形で長さ5～5.5mm、外片は長さ1mmほど。舌状花は長さ6.5～8mm。					
	生育環境	日当たりの良い山地に生育。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。				—	—	
合計						—	

表 8.7-10(30) 注目すべき種の特性及び確認状況（オモダカ）

種名		オモダカ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—
	環境省RL	—			宮城県RDB		—
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	・	C	・	B	・	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～琉球。					
	仙台市内の分布	東部田園地区の水田、西部丘陵地の水田、遊水池など。					
	形態	オモダカ科オモダカ属の多年生草本。地下に走出枝を出し、その先に小さい球茎をつける。葉は根生する。葉身は基部が2つに裂けた矢じり形で、長さ7～15cm、上の裂片よりも下の2つの裂片のほうが長く、先端はとがっている。花期は8～9月。高さ20～80cmの直立する花茎を出し、3個ずつ花を輪生する。萼片は3個で緑色。花弁は3個で、長さ8～10mm。					
	生育環境	水田や浅い池に生育。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—	
合計						—	

表 8.7-10(31) 注目すべき種の特性及び確認状況（ヒメヤブラン）

種名		ヒメヤブラン						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—	
	環境省RL	—			宮城県RDB		—	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	・	C	・	・	+	○		
種の特 性(※)	全国分布	北海道西南部～琉球。						
	仙台市内の分布	青葉山、台原森林公園、葛岡墓園、日の出町公園、井土、荒浜、秋保大滝植物園、根白石など。						
	形態	ユリ科ヤブラン属の多年生草本。コヤブランに似ているが、葉の幅はわずか2～3mm、花茎は高さ20cm以下で狭い翼があり、種子は径4～6mm。花期は7～9月。						
	生育環境	原野の草地や林下に生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
③	平成27年度の夏季（7月）調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(32) 注目すべき種の特性及び確認状況（オオバジャノヒゲ）

種名		オオバジャノヒゲ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法		—	
	環境省RL	—			宮城県RDB		—	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	・	B	・	・	C			
種の特 性(※)	全国分布	本州～九州。						
	仙台市内の分布	青葉山、台原森林公園、上愛子、芋沢、藤塚、野草園、大年寺山、日本平、鉤取山、秋保大滝植物園、長命館公園など。						
	形態	ユリ科ジャノヒゲ属の多年生草本。長い匍枝があり、根は所々紡錘状にふくれる。葉は長さ30～50cm、幅4～6mm、縁の鋸歯は明らかではない。花期は7～8月、淡紫色または白色の花をつける。						
	生育環境	林下に生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(33) 注目すべき種の特性及び確認状況（コナギ）

種名		コナギ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	.	.	.	C	.	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	本州～琉球。				
	仙台市内の分布	荒井、井土、茂庭など。				
	形態	ミズアオイ科ミズアオイ属一年生草本。ミズアオイに似ているが全体に小型で、茎もいちじるしく短く、葉も長さ3～7cmで披針形、卵状披針形、卵心形など変化が多く、花序は葉よりいちじるしく短く、花も小型である。花期は9～10月。花序は花が終わると、基部から急激に曲がって下を向く。				
	生育環境	水田や池に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合計						—

表 8.7-10(34) 注目すべき種の特性及び確認状況（ノハナショウブ）

種名		ノハナショウブ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	1	.	C	.	.	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	葛岡墓園、月山池、朴沢、蒲生、水の森公園など。				
	形態	アヤメ科アヤメ属の多年生草本。茎は剣状で、長さ30～60cm、幅5～12mm、太い中脈が目立つ。6～7月、高さ40～80cmの花茎が立ち、頂部に数個の苞があり、その中から数個の花をつぎつぎに開く。花は赤紫色で径約10cm。外花被片は楕円形で先が垂れ、中央から基部の爪にかけては黄色である。内花被片は狭長楕円形で直立し、長さ4cm内外、花柱分枝の先は2裂し、裂片はほぼ全縁である。葯は黄色。蒴果は楕円形で長さ2～3cm。				
	生育環境	山野の草原や湿原に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
合計						—

表 8.7-10(35) 注目すべき種の特性及び確認状況（ヤマアワ）

種名		ヤマアワ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—				種の保存法	—	
	環境省RL	—				宮城県RDB	—	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	・	B	・	・	B			
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。						
	仙台市内の分布	台原森林公園、葛岡墓園、サイカチ沼、大倉、港、今泉、井土、秋保大滝植物園、根白石など。						
	形態	イネ科ノガリヤス属の多年生草本。茎は高さ60～150cm、やや硬くて、直立する。葉はやや扁平で、ざらつく。花序は直立し、長さ10～30cm、密に多数の小穂をつけ、狭卵形または披針形、枝は半輪生でざらつく。小穂は狭披針形で、長さ5～8mm。苞穎は線状披針形で、ほぼ同長、淡緑色またはわずかに赤褐色を帯びる。護穎は薄膜質で、苞穎よりも明らかに短い。花期は7～9月。						
	生育環境	山中、日当たりのよい草地に生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
③	平成27年度の夏季（7月）調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(36) 注目すべき種の特性及び確認状況（メヒシバ）

種名		メヒシバ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—				種の保存法	—	
	環境省RL	—				宮城県RDB	—	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	・	・	・	・	・	○		
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本全土。						
	仙台市内の分布	台原森林公園、青葉の森緑地、葛岡墓園、上愛子、蒲生、荒井、井土、大年寺山、JR長町駅東側、秋保町馬場、将監沼風致公園、泉ヶ岳芳の平など。						
	形態	イネ科メヒシバ属の一年草草本。茎は長く地をはい、分枝して、高さ10～50cmになる。葉はやわらかく、扁平で、長さ8～20cm。花序は掌状に分枝した3～8個の総からなり、総は長さ5～15cm、その中軸は幅1mm位あって、縁がざらつく。花は7～11月。和名は雌日芝で、オヒシバに比べてやさしく、日当たりのよい場所によくはえるのに由来する。						
	生育環境	畑地などの陽地に生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に開放水域、砂浜、河川、耕作農地、非耕作農地、宅地跡で生育を確認した。				—	—		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(37) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハマニンニク）

種名		ハマニンニク				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	1,4	.	.	.	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道・本州・九州北部。				
	仙台市内の分布	蒲生から名取川河口まで。				
	形態	イネ科エゾムギ属の多年草。長い根茎が出る。全体的に平滑で、白緑色を帯びる。茎は丈夫でやや太く、高さ50～100cmになる。葉は厚く、表面に多数の隆条がある。花穂は直立し、長さ10～25cmで、白緑色、長い軟毛がある。花は6～7月。				
	生育環境	海岸砂質地に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に砂浜で生育を確認した。			—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
⑤	平成23年度の夏季（7月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合計					—	

表 8.7-10(38) 注目すべき種の特性及び確認状況（カゼクサ）

種名		カゼクサ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	.	B	C	C	.	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	本州～九州。				
	仙台市内の分布	青葉山、台原森林公園、葛岡墓園、米ヶ袋広瀬川畔、水の森、上愛子、蒲生、荒浜、井土、三峰神公園、太白山、馬場大滝、旗立など。				
	形態	イネ科スズメガヤ属の多年生草本。高さ30～80cm。匍枝は出さない。葉は線形で、細長く、裏面は濃緑色、表面は粉白色であるが、表裏が反転する。円錐花序は長さ20～40cm、狭卵形で、分枝して多数の小穂をまばらにつけ、柄の上方に無柄の黄色の腺がある。小穂は長さ6～10mm、葯は長さ約1mm。花期は8～10月。				
	生育環境	堤防、路傍などに生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に耕作農地で生育を確認した。			—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合計					—	

表 8.7-10(39) 注目すべき種の特性及び確認状況（ケカモノハシ）

種名		ケカモノハシ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—	
	環境省RL	—			宮城県RDB	—	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	.	.	.	.	B	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	蒲生、中野、藤塚など。					
	形態	イネ科カモノハシ属の多年生草本。カモノハシによく似ているが、全体にやや太くて圧毛があり、小穂は幅が広い。花は7～9月。					
	生育環境	海岸砂地に生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に砂浜、湿地、被災樹林で生育を確認した。			—	—		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—		
④	平成23年度の秋季（10月）調査時に生育を確認した。			—	—		
⑥	平成29年度の夏季（8月）調査時に生育を確認した。			—	—		
合計						—	

表 8.7-10(40) 注目すべき種の特性及び確認状況（カモノハシ）

種名		カモノハシ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—	
	環境省RL	—			宮城県RDB	—	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1	.	.	.	B		
種 の 特 性 (※)	全国分布	本州～九州。					
	仙台市内の分布	岡田、荒浜など。					
	形態	イネ科カモノハシ属の多年生草本。基部はときに地をはって分枝する。葉は線形。花序は高く立ち、長さ4～7cm。花は7～11月。					
	生育環境	湿地、砂浜などに生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—		
合計						—	

表 8.7-10(41) 注目すべき種の特性及び確認状況（オギ）

種名		オギ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	・	C	C	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	青葉山、岡田、広瀬川中河原緑地、井土、東中田など。				
	形態	イネ科ススキ属の多年生草本。茎は太く、高さ1～2.5mになる。葉は線形で、長さ40～80cm、幅1～3cm。花期は9～10月。花序は長さ25～40cm、中軸はやや短く、総は多数で、長さ20～40cm。小穂は長さ5～6mm、帯褐色で、披針形、基毛はやわらかく銀白色。第4穎は多くは芒がない。				
	生育環境	水辺、池畔の湿地に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に開放水域、河川で生育を確認した。			—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合計					—	

表 8.7-10(42) 注目すべき種の特性及び確認状況（アイアシ）

種名		アイアシ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	NT
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	1	・	・	・	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	七北田川、蒲生、井土浦など。				
	形態	イネ科アイアシ属の多年生草本。高さ1m内外で、横にはう太い根茎は短い鱗片に覆われる。茎は太く、葉は長さ20～40cm、幅1～4cm。花序は長さ10～25cm、5～12個の総が直立する。花は6～10月。				
	生育環境	海岸地方に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合計					—	

表 8.7-10(43) 注目すべき種の特性及び確認状況（ヨシ）

種名		ヨシ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	・	C	C	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～琉球に分布。				
	仙台市内の分布	青葉山、台原森林公園、葛岡墓園、蒲生海岸、井土、荒浜、鉤取山、将監沼風致公園、茂庭など。				
	形態	イネ科ヨシ属の多年生草本。ツルヨシによく似ているが、地上につるがなく、葉は幅2～4cm、先は次第に鋭くとがり、下垂する。花期は8～10月。花序は長さ15～40cm、小穂は長さ(10～)12～17mm。				
	生育環境	湿地に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に、開放水域、干潟、河川、湿地、耕作農地、非耕作農地で生育を確認した。			—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
⑤	平成23年度の春季（5月）調査以降、継続的に生育を確認している。			—	—	
合計					—	

表 8.7-10(44) 注目すべき種の特性及び確認状況（マコモ）

種名		マコモ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	・	B	・	B	・	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	井土、野草園など。				
	形態	イネ科マコモ属の多年生草本。雌雄同株で、根茎は太く、横にはい、節がある。茎は高さ1～2mあって太く、平滑で、無毛。葉は長さ50～100cm、幅2～3cm、粉緑色を帯び、細かなざらつきがあり、葉舌は長い。円錐花序は直立し、長さ40～60cmになり、よく分枝する。雌性小穂は線形、淡緑色、長さ18～25mmで、2～3cmの直立する芒がつく。花序の下半部の小穂は雄性で、長さ8～12mm、汚赤紫色を帯びて下垂する。花期は8～10月。				
	生育環境	沼地、溝中に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に、開放水域及び耕作農地で生育を確認した。			—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合計					—	

表 8.7-10(45) 注目すべき種の特性及び確認状況（シバ）

種名		シバ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	・	B	B	B	・	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本全土。				
	仙台市内の分布	台原森林公園、米ヶ袋、野草園、井土、藤塚、長命館公園、朴沢など。				
	形態	イネ科シバ属の多年生草本。硬くて、長い茎が地をはって分枝する多年草。葉は幅2～5mm、若い時には長毛がまばらにはえる。花期は5～6月。花茎は高さ10～20cm、花穂は直立し、長さ3～5cm。小穂はゆがんだ卵形で、長さ約3mmあって、幅の2～2.5倍。				
	生育環境	日当たりのよい草地に生育。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合計					—	

表 8.7-10(46) 注目すべき種の特性及び確認状況（ミクリ）

種名		ミクリ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—	
	環境省RL	NT			宮城県RDB	NT	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1	・	B	・	B	・	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	上愛子、荒井、郡山吹上下など。					
	形態	ミクリ科ミクリ属の多年生の抽水植物。全高50～100cm。葉は幅8～15mm。裏面中央に稜があり、6～8月に茎の上部の葉腋から枝を出し、枝の下部に1～3個の無柄の雌性頭花、上部に多数の無柄の雄性頭花をつける。雄花の花被片は3～4個でさじ形。雄蕊は3個ある。雌花の花被片は3個で倒卵形。花柱の先の片側に長さ3～6mmの糸状の柱頭がついている。雌性頭花は熟すると、径15～20mmの球形で緑色の集合果となる。					
	生育環境	浅い水底に生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—		
合計					—		

表 8.7-10(47) 注目すべき種の特性及び確認状況（ヒメガマ）

種名		ヒメガマ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—		
	環境省RL	—			宮城県RDB	—		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	.	C	C	C	.			
種の特 性 (※)	全国分布	北海道～琉球。						
	仙台市内の分布	台原森林公園、葛岡墓園、芋沢青野木など。						
	形態	ガマ科ガマ属の多年生草本。茎の高さ1.5～2m、葉の幅は5～12mmである。雌花群と雄花群の間に花のつかない裸出した軸がある。雌花群は長さ6～20cm。						
	生育環境	平地の湖沼や河川などに生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に開放水域、河川、湿地で生育を確認した。				—	—		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—		
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(48) 注目すべき種の特性及び確認状況（ガマ）

種名		ガマ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—		
	環境省RL	—			宮城県RDB	—		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	.	C	C	C	.	○		
種の特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。						
	仙台市内の分布	青葉山、荒井、野草園、茂庭など。						
	形態	ガマ科ガマ属の多年生草本。根茎は泥の中を横にはい、ふつう群生する。葉は線形で長さ1～2m、幅1～2cmあり、厚くて毛はない。6～8月に、茎頂に花序をつける。雌花群と雄花群とは近接し、はじめそれぞれの下に苞があるが早く落ちる。						
	生育環境	湿地に生育。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。				—	—		
合計						—		

表 8.7-10(49) 注目すべき種の特性及び確認状況（コウボウムギ）

種 名		コウボウムギ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山 地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海 浜	
	.	.	.	.	B	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道（西海岸）～琉球。				
	仙台市内の分布	蒲生、井土浦、荒浜など。				
	形 態	カヤツリグサ科スゲ属。根茎はやや太く、長く伸びる。茎は太く、高さ10～20cm、葉は革質で、縁は細かくざらつき、幅4～6mm。				
	生育環境	海岸の砂地に生育。				
番 号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（11月）調査時に干潟、砂浜で生育を確認した。			—	—	
②	平成26年度の調査時に生育を確認した。			—	—	
③	平成27年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
⑤	平成24年度の夏季（6月）調査時に生育を確認した。			—	—	
⑥	平成29年度の春季（4月）及び夏季（6月及び8月）調査時に砂浜で生育を確認した。			—	—	
合 計					—	

表 8.7-10(50) 注目すべき種の特性及び確認状況（サンカクイ）

種 名		サンカクイ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—
	環境省RL	—			宮城県RDB	—
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山 地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海 浜	
	.	B	.	B	.	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～琉球。				
	仙台市内の分布	葛岡墓園、うどう沼、大堤公園、広瀬川中河原緑地、荒井、柳生、袋原、天沼、茂庭など。				
	形 態	カヤツリグサ科ホタルイ属の多年生草本。根茎は細長く、横にはう。茎は高さ50～100cm、鋭3稜形、幅2～7mm。花序は側生状で、4～5個の小穂からなり、枝は出ないかまたは出ても少数で短い。小穂は長楕円形または卵形で、1～3個ずつ集まり、長さ7～12mm、幅5～7mm、さび褐色。果は広倒卵形で長さ2～2.5mm、やや平滑で光沢があり、レンズ形、黄褐色。刺針は3～5個ついて、果とほぼ同長で、下向きにざらつく。7～10月に熟す。				
	生育環境	池や川のほとりなどの湿地に生育。				
番 号	確認状況			地点数	確認数	
③	平成27年度の秋季（9月）調査時に生育を確認した。			—	—	
合 計					—	

表 8.7-10(51) 注目すべき種の特性及び確認状況（ネジバナ）

種名		ネジバナ					
注目すべき種の選定基準	文化財保護法	—			種の保存法	—	
	環境省RL	—			宮城県RDB	—	
	仙台市						
	学術上重要種	減少種					環境指標種
		山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	
	・	B	・	B	・	○	
種の特性(※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	台原森林公園、葛岡墓園、中山、日の出町公園、広瀬川中河原緑地、大年寺山、水の森公園、長命館公園、朴沢など。					
	形態	ラン科ネジバナ属の多年生草本。茎は高さ10～40cm、2～3個の葉と少数の鱗片葉がある。根出葉は数個、斜上し、広線形、鋭頭、長さ5～20cm、幅3～10mm、基部は鞘となる。花は淡紅色、らせん状にねじれた穂状花序につく。花序は有毛。苞は狭卵状披針形、長鋭尖頭、長さ4～8mm。萼片は披針形、長さ5mm。側花弁は萼片より少し短く、脊萼片とともにかぶとをつくる。唇弁は白色で倒卵形、鈍頭、萼片よりすこし長く、縁に細歯牙があり、先は反曲し、基部の両側に光沢のあるいぼがある。					
	生育環境	日当たりのよい草地に生育。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
③	平成27年度の夏季（7月）調査時に生育を確認した。			—	—		
合計					—		

注：1. 「仙台市内の分布」は「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（平成29年 仙台市）、「全国分布」、「形態」、「生育環境」は「日本の野生植物 草本Ⅰ 単子葉類」（1982年 平凡社）から引用した。

2. 注目すべき種の選定基準の区分は、表8.7-4・5のとおりであり、「番号」は表8.7-3の資料番号に対応する。

## 8.7.2 予 測

### (1) 供用による影響（施設の稼働）

#### ① 予測内容

予測内容は、施設の稼働による蒲生干潟に生育する植物相及び注目すべき種への影響の程度とした。

#### ② 予測地域等

予測地域は、調査地域と同様の蒲生干潟とした。

#### ③ 予測対象時期

予測対象時期は、施設の稼働の状態が定常となり、ばい煙の排出により大気質に係る影響が最大となり、排水の排出先である海域の水質に係る影響が最大となる2024年とした。

#### ④ 予測方法

予測方法は、施設の稼働に伴う大気質及び水質の予測結果を踏まえ、蒲生干潟における植物相及び注目すべき種への影響を予測した。

#### ⑤ 予測結果

##### ア. 大気質への影響に伴う植物への影響

施設の稼働に伴う大気質の年平均値予測結果は、表8.7-11のとおりである。

蒲生干潟における本事業による二酸化窒素の寄与濃度は、0.00003～0.00005ppm、二酸化硫黄の寄与濃度は0.00001～0.00003ppm、浮遊粒子状物質の寄与濃度は0.000005～0.00003mg/m<sup>3</sup>と、いずれも現況（バックグラウンド濃度）の0.04～3%と極めて低い値であり、本事業の稼働後も、大気質の状況はほとんど変化しないと予測された。

そのため、本事業の稼働による蒲生干潟に生育する植物相及び注目すべき種への影響は少ないと予測された。

表 8.7-11 蒲生干潟における大気質の状況の変化

項 目	本事業による寄与濃度 [a]	現況の大気環境濃度 (バックグラウンド濃度) [b]	現況の大気環境濃度に対する 本事業による寄与濃度 の割合 [a/b]
二酸化窒素	0.00003～0.00005 ppm	0.012 ppm	0.3～0.4 %
二酸化硫黄	0.00001～0.00003 ppm	0.001 ppm	1～3 %
浮遊粒子状物質	0.000005～0.00003 mg/m <sup>3</sup>	0.012 mg/m <sup>3</sup>	0.04～0.25 %

注：大気質の年平均値予測結果は、図8.1-16～18に示すとおりである。

##### イ. 水質への影響に伴う植物への影響

施設の稼働に伴う排水により水質の変化が想定される範囲は、計画地の排水口から水の汚れ（化学的酸素要求量（COD））が約59m、富栄養化（全窒素）が約92m、富栄養化（全磷）が約94mであり、計画地より約2km以上離れている蒲生干潟には排水の影響は及ばないと予測された。

したがって、本事業の稼働後も蒲生干潟における水質の状況はほとんど変化せず、蒲生干潟に生育する植物相及び注目すべき種への影響は少ないと予測された。

### 8.7.3 環境保全及び創造のための措置

#### (1) 供用による影響（施設の稼働）

施設の稼働に伴う蒲生干潟に生育する植物への影響を予測した結果、蒲生干潟における大気質及び水質の状況はほとんど変化せず、蒲生干潟に生育する植物への影響は少ないと予測された。

本事業の実施に当たっては、施設の稼働に伴う大気質及び水質への影響を可能な限り低減するため、表8.7-12に示す環境の保全及び創造のための措置を講ずることとする。

表 8.7-12 環境の保全及び創造のための措置（供用による影響（施設の稼働））

環境影響要因	環境の保全及び創造のための措置の内容
供用による影響 （施設の稼働）	<p>○ 大気質に関する環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排出ガス処理設備として、以下に示す排煙脱硫装置、排煙脱硝装置及びバグフィルタを備え、「大気汚染防止法」（昭和43年法律第97号）の規制基準を遵守することはもとより、国内における同種・同規模プラントの中では、最高水準の排出ガス濃度値を達成する。</li> <li>排煙脱硫装置：硫黄酸化物を除去するため、水酸化マグネシウムスラリーを使用した水酸化マグネシウム法による脱硫装置を採用する。</li> <li>排煙脱硝装置：窒素酸化物を除去するため、アンモニアを還元剤とする脱硝装置を採用する。</li> <li>バグフィルタ：ばいじんを除去するため、バグフィルタを採用する。</li> <li>・ 木質バイオマス専焼発電に事業計画を変更したことから、石炭燃焼に伴い発生する重金属類等の有害物質は排出しない。</li> <li>・ 木質バイオマスは硫黄分をほとんど含有しないために硫黄酸化物の発生抑制にもつながる。</li> <li>・ 微小粒子状物質について、発生原因の一つと考えられる窒素酸化物、硫黄酸化物、ばいじんの排出に対して、上記の環境の保全及び創造のための措置を講じることにより、可能な限り排出を低減する。</li> <li>・ 排出ガスについては、硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじんの濃度等に関わる自動測定装置を設置し、常時監視を行う。</li> </ul> <p>○ 水質に関する環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海水冷却方式と比較して排水量が大幅に少ない冷却塔方式を採用する。</li> <li>・ ボイラ、冷却塔等の運転管理を適切に行う等、排水発生量の抑制に努める。</li> <li>・ 施設の稼働に伴い発生するプラント排水は、凝集沈殿、活性炭吸着及び中和の処理を行い、「水質汚濁防止法」等の規制基準に適合した水質とした後、計画地前面の公共用水域（海域）に排出する。</li> <li>・ 事務所棟等より発生する生活排水は、公共下水道に排除する。</li> <li>・ 公共用水域（海域）に排出するプラント排水は、化学的酸素要求量（COD）、濁度、油分、水素イオン濃度（pH）及び水温については常時監視するとともに、他の水質項目を含めて定期的に測定を行うことにより、法令に基づく基準値に適合していることを確認する。</li> <li>・ 木質バイオマス専焼発電に事業計画を変更したことから、石炭燃焼に伴い発生する重金属類等の有害物質は排出しない。</li> </ul>

#### 8.7.4 評価

##### (1) 供用による影響（施設の稼働）

###### ① 回避・低減に係る評価

###### ア. 評価方法

予測結果を踏まえ、施設の稼働による大気質及び水質への影響に伴う蒲生干潟に生育する植物相及び注目すべき種への影響が、適切な環境保全及び創造のための措置により、実行可能な範囲で回避・低減が図られているか否かを判断した。

###### イ. 評価結果

予測の結果、本事業の稼働による蒲生干潟に生育する植物相及び注目すべき種への影響は少ないと予測された。

事業の実施に当たっては、排煙脱硫装置、排煙脱硝装置、バグフィルタ等による大気汚染物質の除去及び排水処理設備による水質汚濁物質の除去により、大気質及び水質への影響は実行可能な範囲で低減が図られている。

したがって、施設の稼働に伴う大気質及び水質への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られており、蒲生干潟に生育する植物の植物相及び注目すべき種への影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

なお、施設の稼働前後において、蒲生干潟に生育する植物について現地調査を行い、本事業による影響を確認する。

